

2024年7月1日  
株式会社グローバル・マンパワー

## 2024年7月1日 就労移行支援施設「グリーンジョブくまがや」オープン

株式会社グローバル・マンパワーでは、熊谷市万吉に「グリーンジョブくまがや」をオープンいたします。

「グリーンジョブくまがや」は、障がいをお持ちの方が就労に向けたトレーニングを行う就労移行支援施設です。主に農業分野における一般企業への就労を目指す施設であり、ハウス内での菌床しいたけ生産を中心にトレーニングを行います。

現在、日本の農業では、生産者の担い手不足・高齢化、食料自給率の低下が課題となっています。個人で農業を営むのは決して簡単ではありませんが、一人ひとりの特性、適性に合わせて作業を細分化し、チームで進めることができるのが農業の特徴でもあります。「グリーンジョブくまがや」の取り組みは、個人の課題だけでなく社会の様々な課題解決の一助になると考えています。

弊社は、KKBグループ(熊谷市を本拠とするタイヤリサイクルのリーディングカンパニー)の一員として、グループ会社の株式会社国分グリーンファームと連携し、しいたけ以外の作物の栽培、加工品の商品化、直売所や飲食店の展開など、就労後の活躍の場を広げるためグループ全体で取り組んでまいります。

### 【グリーンジョブくまがや概要】

施設名称：就労移行支援施設 グリーンジョブくまがや(事業所登録番号 1113101461)

所在地：埼玉県熊谷市万吉 2710

受入定員：15名/日

TEL：048-580-5387 FAX：048-539-2201

ホームページ URL：<https://www.greenjob.jp/>



ホームページ  
QRコード



## 生産者を育みながら就労先となるしいたけ農場を整備

就労移行支援施設「グリーンジョブくまがや」のしいたけ生産については、グループ会社である株式会社国分グリーンファーム(天然芝、露地野菜、きのこなどの生産)がサポートします。

就労先についても、株式会社国分グリーンファームが、障がいをお持ちの方の雇用を推進する企業と協力し、施設近隣にしいたけ農場を整備しながら確保していきます。

## 障害者雇用促進法に定める法定雇用率

2024年4月、障害者雇用促進法に定める民間企業の法定雇用率は、2.3%(43.5人に1人)から2.5%(40人に1人)へと引き上げられました。さらに2026年7月には、2.7%(37.5人に1人)まで引き上げられることが決定しています。

しかし、厚生労働省の調査によると、2023年6月1日時点の法定雇用率達成企業は50.1%に留まっています。また、厚生労働省の推計によると、2023年の障がい者数は日本の総人口の9.2%にあたる1,160万2千人、その内精神障がいは614万8千人であるとされています。

これらの方々の「働きづらさ」「生きづらさ」に向き合うこと、障がい者の雇用促進・就労支援と向き合うことは、もはや日本社会全体に関わる課題になっていると言えます。

## 新たな「農福連携」の形を目指して

埼玉県内には、すでに就労継続支援A型・B型の施設で「農福連携(農業と福祉の連携)」に取り組まれている事業所が多くありますが、「グリーンジョブくまがや」の取り組みは、就労移行支援という異なる枠組みでのチャレンジとなることから、ぜひご注目をいただきたいと考えております。

### 【本件に関する問い合わせ先】

株式会社グローバル・マンパワー(運営会社)

〒360-0161 埼玉県熊谷市万吉 2710

TEL : 048-539-2200 FAX : 048-539-2201

担当 : 土屋(代表取締役)、原田(施設長)